

～笑顔と夢に溢れ地域と共に歩む学校～

長

千代田西部小学校

せんだん



HP

西部小4つのたから
大きなうたごえ 元気なあいさつ
すなおな心 つなぐ心

令和7年度 第12号

令和7年10月16日

文責 校長 横地 千恵子

子供たちの成長が見られた体育大会でした。応援ありがとうございました！

スローガン「150年の伝統をうけつぎ、みんなが主役の歴史に残る体育大会にしよう」

前日の大雨が嘘のように晴れ渡った体育大会当日。子供たちも全力でがんばった熱い(暑い)体育大会となりました。今年は創立150周年ということもあり、練習の時から「150%の力を出してがんばろう!」と体育主任の浜辺先生に励まされていました。その言葉通り、子供たちの笑顔いっぱい頑張る姿に感動をもらいました。どの学年も短い練習期間で準備を怠りなく進めてきました。スタンプやソーラン節など、練習で、暑い、痛い、きつい、苦しいことがあっても、乗り越えてがんばったからこそ感じた達成感や充実感。どの学年の振り返りからも、それが伝わってきて、子供たちの成長が感じられました。6年生が大事にしているスローガンの言葉通り、「みんなが主役」の体育大会になりました。学年1クラスしかないのに、同じクラスで、赤白に分かれて戦ったけれど、最後はお互いをたたえ合う、一体感が感じられた素晴らしい体育大会でした。体育大会の練習を通して学んだ力をこれからの学校生活にも生かし、ぐんぐん伸びてくれると期待しています。



6年生の体育大会振り返りより（一部抜粋）

- ・ 準備の期間の分、本番での達成感がありました。8月から準備を始めて、長い期間かったけど、意見がぶつかってみんなで乗り越えることができました。
- ・ 1年生に応援を教えました。本番は1年生初めての体育大会なのに上手に必死にがんばっていて、下級生のお陰で成功したのかもしれないと思いました。
- ・ 応援歌を作る時には応援団のみんなでどうしたら印象に残るか、どうしたら、みんなの勇気がわくのか、など考えながら応援歌を作りました。だけど、どれもピンとこなくて、家に帰ってから、20分休みも、昼休みなどにもみんなでずっと考えて、やっと決まりました。やっと決まった応援歌は最高でした。やっぱりみんなで一生懸命考えた応援歌は最高なものだとわかりました。
- ・ 最初は振り付けを作るのも、「すぐ終わるでしょ。」と思っていましたが、そう甘くはなかったです。下級生をリードするのもなかなかうまくいかなかったり、先生たちに「そんなので150%は出せないよ」と言われたりした言葉が悔しくて悔しくてたまりませんでした。そして、自分でこんなじゃだめだ、と思いがんばった時からだんだん楽しくなってきました。
- ・ 何事もあきらめないことを学びました。事前の準備やフラッグ、スタントの練習など、とても忙しく、辛かったです。先生に喝を入れられたり、不安を感じることもありました。それでもあきらめず、努力を続けたからこそ、体育大会を成功させることができたんだと思います。
- ・ 先生の「もっとこんな感じで」という言葉も、最初聞いた時は、もうやりたくない、と思ったけど、今では「ありがとうございました」に変わりました。先生方、ありがとうございました。
- ・ 赤も白も練習のがんばりはお互いによく知っています。だから、赤が勝ったと聞いて、嬉しい気持ちと心が痛い気持ちと同時に来たことが心に残っています。そして、赤も白もどっちも頑張ったことを知っているからこそ、白組は赤組に、赤組は白組に自然と拍手ができたんだと思います。自然と拍手や「お疲れ様」が言えて、嬉しかったことがとても心に残っています。
- ・ 練習もふくめて、下級生はすごいなあと思いました。まだ1、2回しか体育大会をしたことがないのに、あそこまでの表現や応援がよくできるなあと思いました。4、5年後の西部小も安心だなあと思いました。
- ・ 最後の体育大会でみんなが主役になれてよかったです。これからも、みんなの前にたって、引っ張っていけるようにがんばりたいです。
- ・ 体育大会を通して、みんなで協力すれば最高のものができるとことがわかりました。これからもみんなで協力して何ごととも乗り越えたいです。小学校最後の体育大会、歴史に残る大会にできてよかったです。

ありがとうございます！



ドリームパークの指導員西村様より
秋を感じる花と栗をいただきました。
本物の栗を見たことがない1年生は
「先生、これウニ?!」なんて話していました。
それより、ウニを知っている方が
驚きです😊